

主要な農作物の生育状況（６月１日現在）

経営支援領域 専門技術グループ

【水 稲】

田植え盛期（５０％）は５月１４日、田植え終期（９５％）は５月２２日で平年並みでした。現在の生育は平年並みから２日程度遅れています。

直播栽培は、５月３半旬の出芽が多く、苗立ち数は㎡当たり５０本以上を確保している事例が多いです。初期生育は順調に推移しています。

表 田植え時期

	始 期 (５ %)	盛 期 (５ ０ %)	終 期 (９ ５ %)
本 年	５月５日	５月１４日	５月２２日
平 年	５月５日	５月１４日	５月２２日

【麦 類】

小麦の生育状況は、草丈・茎数が平年並からやや劣り、穂数は平年よりやや少なくなっています。出穂期は、５月１半旬で平年より２～４日程度遅れました。

【野 菜】

１ きゅうり

５月上旬定植のトンネル栽培は本葉１２～１４枚で、５月末につる上げされ前年並の６月上旬から収穫が開始されます。

４月中下旬播種の露地栽培は、定植は５月１５日頃から始まり５月２４～２５日が最盛期となりました。定植後の生育は、マルチ内の土壌が乾燥しているほ場ではやや遅れが見られます。収穫は前年並の６月２０日頃から開始される見込みです。

病害虫は、べと病やハモグリバエの被害のあるほ場が見られます。

２ トマト

２月播種の栽培は、定植が４月２０日前後に行われ、現在４段花房が開花しております。収穫は前年並の６月１５日頃から開始されます。１～３段花房の着果は良好です。

３月播種の栽培は、定植が５月中旬に行われました。初期生育は順調で、収穫は前年並の７月１日頃から開始されます。

南会津地方の産地では、４月６日に播種が行われ、接ぎ木や育苗も順調に進みました。定植は、６月１日～５日に行われ、収穫は前年並の７月２０日頃から始まる見込みです。

病害虫は、ハダニ類の発生が多いほ場が見られます。

３ ピーマン

トンネル栽培では、定植は前年並の４月下旬に行われました。降雨が少なかったものの、ポリマルチをかける前に降雨があり、定植後の活着は良好でした。収穫は前年並の６月１３日頃から始まる見込みです。

露地栽培では、育苗は順調に進み、定植は前年並の５月中下旬に行われました。

特に問題となる病害虫は発生していません。

４ な す

トンネル栽培では、定植は前年並の４月下旬に行われました。生育は順調に経過しており、収穫は前年並の６月上旬から始まる見込みです。

露地栽培では、育苗は順調に進み、定植は前年並の５月中下旬に行われました。

特に問題となる病害虫は発生していません。

5 さやいんげん

3月播種、4月上旬定植のハウス半促成栽培では、低温により前年よりやや生育が遅れ、5月25日頃より収穫されています。

4月播種の栽培では、育苗中の生育が順調に経過し、定植は5月中下旬に実施されました。定植後の生育は、マルチ内の土壌が乾燥しておりやや遅れが見られます。

特に問題となる病害虫は発生していません。

6 グリーンアスパラガス

前年に比べ4月の気温が低く経過したため茎の伸長が遅れましたが、5月に入り回復し平年並の生育となりました。半促成栽培は現在立茎中、露地栽培は収穫中で6月中旬から立茎が始まります。

【果 樹】

1. も も

果実肥大は、「あかつき」が平年比116～118%、「ゆうぞら」が112～116%で平年より大きい状況です。また、満開後日数で比較すると果実肥大は平年並の状況です。

果樹試験場の生育予測では、「あかつき」の硬核期開始は6月9日頃で平年より3日早く、収穫開始は8月2日頃、収穫盛りは8月5日頃で平年より2～3日程度早まる見込みです。

また、地域によって差はありますが、県北地方を中心に、「あかつき」などで双胚果の発生が多い傾向が見られます。

2. りんご

果実肥大は、「つがる」が平年比119～121%、「ふじ」が平年比110～113%と平年より大きい状況です。また、満開後日数で比較すると果実肥大は平年並みの状況です。

結実概ね良好です。

腐らん病の発生が県北、県中、県南、会津、南会津の各地方で確認されており、今後被害の拡大が心配されています。

3. な し

果実肥大は、「幸水」が平年比108～111%、「豊水」が平年比109～112%で平年より大きい状況です。また、満開後日数で比較すると果実肥大は平年並みの状況です。

結実状況は概ね良好です。一部の地域では開花期の天候不良により結実が悪い園地も見られますが、必要着果量は確保されています。

【花 き】

1 キ ク

露地栽培のキクはすべて定植が終了しました。5月を中心に降水量が少なかった影響を受け、草丈の伸びが劣るところも一部見られますが、全般にはほぼ順調に生育しています。また、ハモグリバエ類の発生が早くから目立っています。

2 トルコギキョウ

無加温半促成栽培の出荷は、5月下旬から行われています。現在、秋切り栽培用の苗が定植中であり、6月下旬まで行われます。

3 リンドウ

生育は萌芽時期以後から5月下旬まで降水量が少なかったものの、草丈の伸びへの影響はほとんど見られず、早生系・中晩生系ともに例年よりも若干上回っています。しかし、乾燥による葉先枯れ等の生理障害等が見られています。

ハダニの発生は一部地域に5月上旬頃より見られます。

4 宿根カスミソウ

無加温半促成栽培の出荷は、5月下旬から始まっています。主力品種のプリストルフェアリーを中心とした露地越冬栽培においては、6月20日頃からの出荷開始となる予定です。なお、今年は越冬株において、4月下旬よりハモグリバエ類の発生が多く見られ、特にハコベハナバエによる頂芽への被害が多く発生しているため、一部では品質低下が懸念されます。

【 桑 】

梁川支場(梁川町)における5月31日現在の桑の伸長状況(春切桑園)は、下記のとおり前年並み、平年に比べては大幅に伸びていますが、クワキジラミ等の害虫の発生が見られています。

	H 15年	前年	前年比	平年	平年比
(品種：改良鼠返)：	50cm	56cm	89%	38cm	132%
(品種：一の瀬)：	62cm	55cm	113%	36cm	172%

凍霜害の影響が一部であったものの春蚕期の掃立ては、前年並の5月21日がピークとなりました。

【葉たばこ】

5月9日、10日の降霜により阿武隈地域では生育の停滞が見られ、また、5月20日の雹害により川俣町を中心に収穫葉に亀裂や折損等の被害を受け、生育の停滞が見られます。

【こんにゃく】

植付作業は前年並みの5月下旬となり、現在はほぼ終了している状況です。

【おたねにんじん】

生育は、前年並で開花期及び根部伸長期をむかえているが、一部地域で斑点病が発生しています。

【飼料作物】

1 牧草

4月の気温が前年よりやや高めで、生育は順調に進み、5月の中旬が刈り取り適期となりました。収量は前年並みかやや多い程度ですが、刈り取り作業は順調に進んでいます。

2 飼料用トウモロコシ

播種作業は、5月上中旬を中心として前年どおり行われました。5月の降水量は少なかったものの、影響は見られず生育は順調です。